

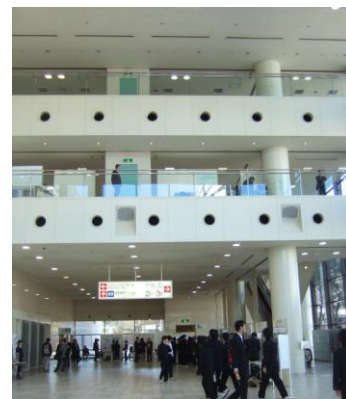
第2回サイエンスフェアin兵庫

広げよう、交流の輪。 見つけよう、将来の自分。

2010年1月24日(日)に神戸国際展示場(ポートアイランド)にて、第2回サイエンスフェア in 兵庫が開催しました。今回は、文部科学省から本校がSSH事業「**中核的拠点育成プログラム**」の指定を受け、一層拡大した取組みとして実施しました。

当日は県内の高等学校や高等専門学校、大学、研究機関、企業から500名を超える参加者を迎えることができました。

なお、ポスターセッション発表に本校からは総合理学科2年生の課題研究より3班、自然科学研究会化学班より1班が発表班として参加しました。



●神戸国際展示場第2号館

第2回サイエンスフェア in 兵庫の概要

1 目的

(1) 兵庫県下の高校生の理数分野における交流の促進

→ 課程、公立・私立を問わず、科学技術を通じて幅広く交流します。

(2) 将来の理数分野を担う高校生の進路選択における具体的指針の形成

→ 企業、研究所、大学院生の方々との科学技術を通じた交流を促進します。

2 主催

第2回サイエンスフェア実行委員会

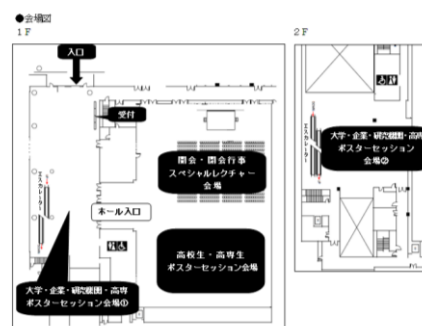
* 兵庫県内のSSH校6校合同で組織

(県立神戸高等学校, 県立尼崎小田高等学校, 県立加古川東高等学校, 県立豊岡高等学校,
県立三田祥雲館高等学校 武庫川女子大学附属中学校・高等学校)



委員長 岡野 幸弘
(兵庫県立神戸高等学校長)

共催 兵庫県教育委員会 後援 科学技術振興機構 (JST)



●当日の会場図

3 主な日程

10:00~10:40 **開会行事**



兵庫県教育委員会事務局
高校教育課長 高見 氏



科学技術振興機構
主任調査員 橋爪 氏

フロアインタビューの様子
本校生とが会場内の高校生、
高等専門学校生、大学院生、
企業の方にインタビューを
しました。



11:00~12:30

高校生・高等専門学校生によるポスターセッション発表

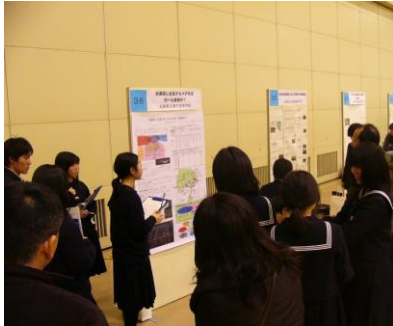
* 県下から集まった **29校・51班** が各班3回の発表 (発表10分、質疑応答3分、準備2分) を行いました。 *発表テーマは神戸高校 web ページをご覧ください。

●本校からは、以下の4班が発表参加しました。

(課題研究)「感染症モデルの構築と数学的考察～感染症の流行を数理モデルにより分析する～」

「兵庫県に生息するメダカは均一な集団か?」 「特定外来生物アルゼンチンアリの港島への侵入」

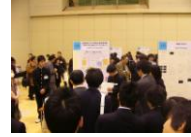
(自然科学研究会化学班)「固形燃料より生成した物質の定性分析」



神戸高校メダカの研究班の発表



御影高校のきのこの展示



明石北高校の立体視システム

(3Dメガネ)

13:30~14:30

企業・大学・研究機関・高等専門学校によるポスターセッション発表

*5大学 (神戸大・兵庫県立大・甲南大・関西学院大・武庫川女子大)・1高等専門学校・22団体 (企業・研究機関) からの参加で **48** のブースでその活動が発表されました。

各ブースで高校生と発表者が熱心にやり取りする光景が見られました。



14:50~15:40

スペシャルレクチャー (特別講演)

題目「脳動脈瘤で考える次元と流体解析 ー未だ見ぬ解析の世界へー」

三重中央医療センター 脳神経外科 医師 石田 藤彦 氏



15:40~16:00

閉会行事

4 まとめ

今回、多くの参加者 (右表参照) を迎えて第2回サイエンスフェア in 兵庫を開催することができました。

効果の詳細な分析については、当日のアンケートを集計・処理しているところです。

本校は兵庫県の理数教育の中核校として、この「サイエンスフェア」を今後も充実した形で実施していきます。

高校	教員	75人
	高校生	250人
高専	教員	1人
	高専生	9人
大学	教員	37人
	学生	25人
企業・研究所		42人
高専	教員	3人
	学生	5人
来賓		7人
合計		454人

一般・当日受付	
高校関係者	12人
大学関係者	4人
企業関係者	12人
保護者	23人
その他	10人
合計	61人

参加者総計	515人
-------	------